

ホット通信～



4月29日、白寿の祝い会。招待客みんなで、工藤さん手作りのちゃんちゃんこを羽織って撮影。

針穴への糸通しも一発。裁縫の達人は、なんと99歳。

白寿の祝い会の席で招待客(約70人)全員に袖なしのちゃんちゃんこを作ってプレゼントした99歳の方がいるとの情報が…。この方は永草に住む工藤タキさん。さっそくご自宅に伺うと、ミシン縫いの最中で、小物入れがあっという間に2個できました。工藤さんは、大変お元気で、その生活ぶりとはとても99歳には見えません。「何でもよく食べてくれます」といっしょに暮らす長男ご夫婦のあたたかい支えも長生きの要です。



幼い頃から裁縫や手芸が好きだった工藤さんですが、当時は働くことが主で、作品が増え始めたのは、子どもさんたちが成長された後。これまでに、衣類、小物、人形、手まりなど数え切れないくらい作っておられます。この年齢での裁縫の達人とあって、3月、作品の一部がJR南熊本駅に展示されました。

生まれも狩尾の甲賀無田で、99年間ずっと阿蘇で暮らしてこられた工藤さん。昔の阿蘇の話をもっと聞いてみたい気がしました。



JR南熊本駅に展示した作品

みんなで集まって昔の話をするのが、なにより楽しくて

〈城山老人会の自主活動〉

「絶対つこけちゃならんばいた」と、毎月懸命に介護予防運動を行っているのは城山老人会(古城5の1地区、和田漫次会長ほか56人)の皆さん。5月24日行われた会では、城山老人会の運動リーダー「介護予防サポーター」の指導で、介護予防体操が行われたあと、阿蘇市役所から消費生活相談所の佐藤講師を招き、悪質な業者からだまされないアドバイスなどの話を聞きました。その後、皆さん手作りの料理を食べながら、



いろんな話題で盛り上がり、いつもでも楽しい笑い声が聞かれました。和田会長は「うちの老人会の人たちは、皆仲がいい。だから一人もケガ人や病気を出したくない、皆で健康でいたいんです。そのために、積極的に健康づくりに取り組み、警察から交通安全の話を聞き、自分たちで、よりよい毎日が送れるよう努めています」と、近く皆さんで芝居見学に行くのも楽しみのご様子。これからも笑顔をいっぱい見せてほしい城山老人会の皆さんでした。



我が家の食生活の見直しから、健康で明るく豊かな阿蘇市づくり

『843名の推進員が健康づくりをお手伝いします!』

4月26日、平成18年度阿蘇市食生活改善推進員協議会総会を、阿蘇保健福祉センターにて開催しました。総会では、80歳以上の27名の会員を名誉会員として、並びに推進員活動歴15年以上の会員480名を功労者として表彰いたしました。その後、平成17年度事業報告、決算の承認及び平成18年度の活動目標、事業計画並びに予算の審議を行いました。

現在、推進員数は843名となり、熊本県下で最大の組織となっています。これからも市民の健康づくりのため、市と協働しながら積極的な活動を展開していきたいと考えています。

お元気ですか

～食生活改善推進員協議会～